

横浜



横浜支局
〒231-0023 中区山下町51-1
☎045-201-7992 F a x 201 8341
メール yokohama@yomiuri.com

田園都市支局
〒225 0002 青葉区美しが丘5
☎045 904 4341 F a x 904-4356

川崎支局
〒210-0006 川崎区砂子2-10-16
☎044-222-3588 F a x 222 3580

相模原支局 〒252-0231
相模原市中央区相模原4-3-14
☎042 752 0255 F a x 776-2341

厚木支局
〒243-0018 厚木市中町3-15-4
☎046-221-5100

湘南支局
〒248-0033 鎌倉市腰越5-13-33
☎0467-32-6861

横須賀支局
〒238-0008 横須賀市大瀬町1-19-4
☎046-823-0078

平塚通信部 0463-24-4114
小田原通信部 0465-34-5188
秦野通信部 046-221-5100
高津通信部 044-328-5901

ホームページ
www.yomiuri.co.jp/local/

購読は **0120-4343-81**

横浜北部読売会 045-201-9594
横浜東部読売会 212-4766
横浜西部読売会 201 8778

【広告】
読売Palette 211-4344
【新聞折込】
読売 I S 042-756-2020
【チケット】プレイガイド 201 9748
【旅行】読売旅行 03-5550-0666

3月22日(月曜日)
旧 2月10日<大安>

■ あすの暦

月齢 8.7 (正午)

—横浜標準—
日出 5.43 満潮 8.21
日入 17.55
月出 10.56 干潮 2.13
月入 1.08 17.39 (小潮)

天気	きょう	横浜	海老名	小田原	三浦
午前	晴	晴	晴	晴	晴
午後	晴	晴	晴	晴	晴
夜	晴	晴	晴	晴	晴
降水確率	90	90	90	90	90
最高最低	18/14	19/14	19/13	18/16	18/16
22(月)	18/8	18/7	18/8	18/7	18/7
23(火)	16/7	15/5	14/7	15/8	15/8

花粉情報
21日

横浜・川崎 県西部

病院の実力「血管の病気」

医療機関別2019年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	腹部大動脈瘤		閉塞性動脈硬化症の治療 (件)	重症下肢虚血治療の実施の有無 (○)
	人工血管置換術 (人)	ステントグラフト内挿術 (人)		
川崎幸	173	63	81	○
東海大	46	44	172	○
北里大	79	8	120	○
聖マリアンナ医大	62	23	67	○
湘南鎌倉総合	45	10	505	○
済生会横浜市東部	50	5	430	○
大和成和	33	15	145	○
新百合ヶ丘総合	42	5	135	○
横須賀共済	29	17	213	○
横浜市大市民総合医療セ	22	21	14	○
横浜市立みなと赤十字	14	27	38	○
横浜労災	22	18	77	○
平塚市民	28	12	37	○
藤沢市民	21	15	54	○
相模原協同	34	1	81	○
市立川崎	30	4	104	○
平塚共済	22	6	74	○
海老名総合	20	2	75	○
聖マリアンナ医大横浜西部	7	13	11	○
横浜市大病院	11	5	72	○
昭和大横浜市北部	1	14	131	○
戸塚共立第2	11	0	57	○
小田原循環器	11	0	39	○
厚木市立	9	1	28	○
総合高津中央	0	0	477	○
総合新川橋	0	0	314	○
川崎市立多摩	0	0	84	○
帝京大溝口	0	0	40	○

「セ」はセンター
全国の調査結果は17日の「安心」の設計面に掲載しました。

70歳以上の人には生活への影響も考慮してステントグラフト内挿術を行うことが多いが、内挿後も動脈瘤が拡大してしまうことがあり、1〜2割は再治療となる。

腹部大動脈瘤も閉塞性動脈硬化症も、高血圧などの生

病院の実力

血管の病気

～神奈川編 154

大動脈瘤 破裂防止へ補強

今回は、主な血管の病気を取り上げる。一覧表には、各医療機関の2019年の治療実績を掲載した。

「腹部大動脈瘤」は、おなかを通る大動脈の一部が、こぶ状に膨らむ病気で、破裂すると命に関わる。こぶの直径が5センチ程度になると、破裂を防ぐための積極的な治療が必要とされる。

脚の付け根から血管内にカテーテル(細い管)を通して、こぶの部分にステントグラフトという筒状の器具を置いて補強する「ステントグラフト内挿術」が近年増えている。こぶのできた部分を切り取って化学繊維でできた人工血

管に置き換える手術「人工血管置換術」も行われる。

「閉塞性動脈硬化症」は、脚の動脈が狭くなったり詰まったりして、血流が悪化し、歩くときに脚にしびれ、痛みなどが出る病気。糖尿病など、生活習慣病の患者がなりやすい。薬物療法や運動療法を行っても改善しない場合は、血管の狭くなった部分をカテーテルを用いて広げる治療や、別の血管をつないで血流の迂回路を作るバイパス手術が選択肢になる。一覧表の「閉塞性



川崎幸病院

生活習慣病と喫煙影響

腹部大動脈瘤は破裂すれば死に至る可能性もある病気だが、症状がほとんど出ない。痛みを感じたときにはすでに破裂しているか、破裂寸前の状態になっている可能性が高い。

大島晋 川崎大動脈センター長

動脈硬化症の治療」の項目には、カテーテル治療とバイパス手術の合計件数を示した。

「重症下肢虚血」は、閉塞性動脈硬化症が進行し、安静時にも足が痛んだり、潰瘍が

できたりする状態。足先が壊死した場合は手術で切断することもある。血流を改善するためにバイパス手術やカテーテル治療が行われるケースもある。

最近ではコロナ禍で健診を受けているからか、大動脈疾患の救急患者が増えているように感じる。特に大動脈瘤は、見える範囲が狭いエコーでは発見できないこともあるため、大動脈瘤の有病率が高くなる60歳以上の人は、最低でも3年に1度、コンピュータ断層撮影法(CT)検査を受けてほしい。

生活習慣病と喫煙が大きく影響する。喫煙は、肺がんばかりが注目されがちだが、血管にとっても百害あって一利なし。たばこ一本に血管の内側を傷つける成分が約100種類含まれていると言われていて、炎症と修復の繰り返しで大動脈は太く、末梢の血管は狭くなってしま